

パーソナルオーディオシステム

リファレンスガイド

Made for
iPod iPhone iPadDownload on the
App Store

N Bluetooth®

WiFi
CERTIFIED

* 4 5 3 0 7 3 1 0 2 * (1)

SRS-X9

©2014 Sony Corporation Printed in China

保証書		持込修理
品名	パーソナルオーディオシステム	
型名	SRS-X9	
お買上げ日	平成・西暦	年 月 日
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。		
ソニー特約店		

お問い合わせ先: 修理相談窓口 フリーダイヤル: 0120-222-330 (FAX 0120-333-389) 携帯電話・PHS一部のIP電話からは、050-3754-9599 ホームページ: http://www.sony.jp/support/ ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075		
保証期間	お買上げの日から	1年
お客様住所	電話	-
お名前	様	

無料修理規定
1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理・持込修理・引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別 受付窓口 保証書の提示・提出 注意事項
出張修理 (1)(2)(3) 出張修理担当者が訪問した際に提示 ※1
持込修理 (1)(2) 持込した製品の修理依頼の際に提示 ※2
引取修理 (3) 製品の引取時に指定業者へ提出

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様の要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理を、引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合 (2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合 (3)保証期間中に発生した故障について、修理依頼された場合 (4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷 (5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷 (6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷 (7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷 (8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷 (9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に伴えて製品交換をする場合がありますのでご承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づき無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障に伴いお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-3

⚠️ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠️ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏電・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠️ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。

⚠️ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く



指示

⚠️ 危険 火災・感電・発熱・発火により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にほこりがたまらないようにしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一本体が傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

火の中に入れない

長時間皮膚がぶれたままになっていると、低温やけどの原因となります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ベースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。医療機器の屋内では使わないでください。

本機を心臓ベースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりベースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長時間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 フラグをコンセントから抜く

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない



禁止

火災や感電の危険をさけるために、本機を水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。本機の上に例え火のついでローソクのような、火炎源を置かないでください。

万一本体が水や異物が入ったときは、すぐに本機の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機背面の端子や通風孔に異物を入れない



禁止

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

電源プラグに触れない



接触禁止

本機や電源プラグなどに触ると感電の原因となります。

ぬれ手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

本体を布団などでおおった状態で使わない



禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する



指示

本機は容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。通常、本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

自然放熱を妨げない



禁止

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密着して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

本製品に強い衝撃を与えないでください



禁止

本製品に強い衝撃を与えるとガラスが割れて破片によりけがの恐れがあります。

その場合は、直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようにご注意ください。

LAN端子に指定以外のネットワークや電話回線を接続しない



禁止

LAN端子に下記のネットワークや回線を接続するとき、コネクタに必要以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特に、ホームテレホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T/100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- PBX (デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

LAN端子に下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。



禁止

はじめから音量を上げすぎない



禁止

突然大きな音が出て耳をいためことがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、音量の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中の製品に長時間ふれない



禁止

長時間皮膚がぶれたままになっていると、低温やけどの原因となります。

本機を医療機器の近くで使わない

BLUETOOTH機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行なうと法律に罰せられることがあります。

・本機を分解／改造すること

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていることを確認してください。
2. 万一本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 FH1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を探用し、与干涉距離は10 mです。

BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので、本機は下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：

BLUETOOTH標準規格Ver.3.0準拠

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : 高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile) : 音量の大小を操作する。

通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANや構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所

他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近傍で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雜音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行なってください。

- 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

2.4DS/0F4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を探用し、与干涉距離は40 mです。

他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。
- ・BLUETOOTH機器の電源を切ってください。
- ・BLUETOOTH無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。
- ・本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- ・BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・本機と接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- ・本機と接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入りたり、音が途切れたりすることがあります。

使用上の注意

取り扱いについて

- ・スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整されています。分解、改造などはしないでください。
- ・次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)
 - 風呂場など、湿度の多い所
 - ほこりの多い所、砂漠の上
 - 時計、キャッシュカードなどの近く
(銀色済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーに近づけないでください。)
 - 激しい振動がある所
- ・平らな場所に設置してください。
- ・設置条件によっては、倒れたり落したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- ・持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクリップカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
- ・キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- ・他に疑問点や問題がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。
- ・本機を廃棄するまたは譲渡する際は、ユーザー情報などを消去するために初期化を実行して本機をお買い上げ時の状態に戻してください。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

MACアドレスは、本機の底面に表示してあります。

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance)で規定された「WPA/WPA2、WPS」について認証取得しています。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4DS/0F4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を探用し、与干涉距離は40 mです。

主な仕様

スピーカー部

使用スピーカー
スピーカー（トッピング）：約19 mm（直径）×2
スピーカー（フロント）：約19 mm（直径）×2
ミッド：約50 mm（直径）×2
サブウーファー：約94 mm（直径）×1

*1 スピーカー（トッピング）は、高周波成分専用の再生ユニットです。高周波成分の含まれた楽曲でないと、音は出力されません。

アンプ部

実用最大出力

スピーカー（トッピング）：2 W × 2 (全高調波歪10%以下、20 kHz) (JEITA*)
スピーカー（フロント）：25 W × 2 (全高調波歪10%以下、10 kHz) (JEITA*)
ミッド：25 W × 2 (全高調波歪10%以下、1 kHz) (JEITA*)
サブウーファー：25 W × 2 (全高調波歪10%以下、100 Hz) (JEITA*)

*1 JEITAは、(電子情報技術産業協会)の略称です。

ネットワーク部

通信方式

IEEE 802.11 b/g (WEP 64 bit, WEP 128 bit, WPA/WPA2-PSK (AES), WPA/WPA2-PSK (TKIP))

使用周波数帯域

2.412 GHz ~ 2.472 GHz (2.4 GHz ISM Band, 13 Channels)
Ch1 ~ Ch13

BLUETOOTH部

出力

BLUETOOTH標準規格Power Class 2

最大通信距離

見通し距離約10 m*

使用周波数帯域

2.4 GHz 帯(2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz)

通信方式

BLUETOOTH標準規格Ver.3.0

対応BLUETOOTHプロファイル*

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)

対応コーデック*

SBC (Subband Codec) *4

AAC*5

aptX

対応コンテンツ保護

SCMS-T方式

伝送帯域(A2DP)

20 Hz ~ 20,000 Hz (44.1 kHzサンプリング時)

*1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わることがあります。

*2 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したもので、

*3 音声圧縮変換方式のこと

*4 Subband Codecの略

*5 Advanced Audio Codingの略

USB端子部

USB A端子(← A)

USBケーブル(別売)を使って、本機に対応したAndroidスマートフォンやiPhoneなどの機器を接続します。

対応フォーマット*

MP3 (MPEG 1 Audio Layer-3): 16 kbps ~ 320 kbps CBR/VBR
WMA9 Standard: 16 kbps ~ 320 kbps CBR/VBR
WAV: 32 kHz ~ 192 kHz, 16 bit PCM
32 kHz ~ 192 kHz, 24 bit PCM
FLAC: 8 kHz ~ 192 kHz, 16 bit FLAC
44.1 kHz ~ 192 kHz, 24 bit FLAC

転送速度

High-speed

対応USBデバイス

Mass Storage Class (MSC)

最大出力電力

2.1 A MAX

USB B端子(← B)

付属のUSBケーブルを使って、本機に対応したコンピューターをつなぎます。ハイレゾ音源対応ウォーキングマシンをつなぐときは、専用ケーブルWMC-NWH10(別売)をお使いください。

対応フォーマット*

PCM (44.1 kHz/48.0 kHz/88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz, 16/24/32 bit)

*1 あらゆるエンコード／ライティングソフトウェア、録音機器、録音媒体との互換性を保証するものではありません。

その他

AUDIO IN (外部入力)端子

Ø3.5 mmステレオミニジャック

LAN端子

10BASE-T/100BASE-TX (自動極性制御)

電源

AC 100V 50/60 Hz

消費電力

50 W

消費電力(待機時)

0.5 W以下

消費電力(BLUETOOTH/ネットワークスタンバイ時)

2.5 W以下

最大外形寸法(幅×高さ×奥行き、最大突起部およびコン

トロール部含む)

約430 mm × 133 mm × 125 mm

質量

約4.6 kg

主な付属品

</